

国立大学法人愛媛大学及び国立大学法人高知大学  
共同入札監視委員会定例会議議事概要

開催日及び場所	令和元年8月2日(金) 13:30~15:00 人文社会科学部棟2階 第2会議室	
委員	委員長 吉田 晋(大学准教授) 委員 安藤 潔(弁護士) 委員 木本 敦(公認会計士)	
審議対象期間	平成30年1月1日~平成31年3月31日	
抽出案件(合計)	4件	(備考)
工 事(小計)	4件	今回の審議対象期間においては、再苦情の申立て及び同審議依頼はなし。  各大学の審議対象案件についての概要を説明したのちに、抽出案件の個別審議について各発注機関の担当者から説明を行い、質問に対して回答した。
一般競争入札 (政府調達に対する指定工事)	0件	
一般競争入札 (上記工事を除く)	3件	
工事希望型競争入札	0件	
通常指名競争入札	0件	
随 意 契 約	1件	
設計・コンサルティング業務(合計)	0件	
簡易公募型プロポーザル方式(拡大)	0件	
委員からの意見・質問, それに対する回答等	意見・質問	回答
	別紙のとおり	別紙のとおり
委員会による意見の具申 又は勧告の内容	・委員長より、今後の抽出案件の選定について、参考資料1の2.の観点を基本として案件を選定する旨の提案があった。	・左記の提案について了承された。

質 問	回 答
<p>1. 愛媛大学</p> <p>(1) 一般競争入札方式</p> <p><b>【愛媛大学（城北）プロテオサイエンスセンター屋上防水改修工事】</b></p> <p>・低い落札率での契約であったが、完成検査は完了しているのか。</p> <p>・落札率が低くなった原因は何が考えられるか。</p> <p>(2) 一般競争入札方式</p> <p><b>【愛媛大学（米野）農学部附属演習林長井田林道災害復旧工事】</b></p> <p>・被害の発生から契約締結までの期間が長いように思える。</p> <p>・高落札率となった原因は何が考えられるか。</p>	<p>・設計図のとおり施工されていることを確認している。</p> <p>・落札業者の積算金額に一部不備があったため低落札率となっている。</p> <p>・災害復旧費の予算化を待たず、学内予算を担保として工事発注を行う判断をし、早期の契約が行えるようにした。</p> <p>調査・設計等にも時間を要するため、契約までの期間については、妥当だと思われる。</p> <p>・公表されている国土交通省の積算基準に基づき積算・予定価格の作成を行っているため、入札価格が予定価格と近似したものと思われる。</p> <p>また、本工事では、数量公開も行っているため、入札価格が予定価格と近似した原因の一つだと思われる。</p>

<p>(3) 随意契約方式</p> <p><b>【愛媛大学（医病）附属病院 RI 排水処理設備改修工事】</b></p> <p>・ 随意契約方式を採用した理由は何か。業者選定の理由は。</p>	<p>・ 先般発生した西日本豪雨により、RI 排水処理設備に被害が発生した。これにより RI 関連の診療が出来なくなってしまったため、緊急随契を行う必要があった。また、契約の相手方を本院の RI 施設を維持管理している業者とすることで、スムーズな復旧を図った。</p>
--	--

質 問	回 答
<p>2. 高知大学            (1) 一般競争入札方式  <b>【高知大学（物部）ライフライン再生Ⅲ            （排水設備）工事】</b></p> <p>・1期2期の工事に関しても、3期と同じように不落随契が発生したのか。</p> <p>・その状況の中で今回3期目が不落随契となった原因は何が考えられるか。</p> <p>・複数回入札を行う際の時間配分は。</p>	<p>・1期目は低入札及び不落もなく落札者決定となった。2期目は、低入札となり、低入札調査の結果、1位の業者と契約した。</p> <p>・本工事の規模は、通常の土木一式工事と比べて規模が小さいため、土木一式をメインとする業者は参加せず、管工事をメインとし、土木一式の資格も持っている少数の業者が参加したものと思われる。            また、土木一式の資格保有業者の絶対数が少ないことも原因の一つだと考えられる。</p> <p>・開札時間から10分間を開札作業、30分間を業者が再入札を行う時間に割り当てている。</p>